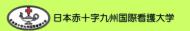


https://www.jrckicn.ac.jp/library/library0503/library0502/

平成30年4月5日 日本赤十字九州国際看護大学図書館 https://www.jrckicn.ac.jp/library/

> ウェブでも 公開中!





先生・先輩方による読書のススメ





新入生のみ念さん

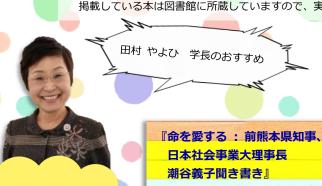
を対すおめでとうこざい表現

本学では、平成 18 年度から、毎年の入学式で『学長が新入生に薦める 100 冊の本』を配布してきました。

「医療に<mark>携わ</mark>る人として深い教養と知性を身につけてほしい」と<mark>い</mark>う喜多名誉学長の願いにより始まったこの試みは、み<mark>な</mark>さんにより本に親しんでもらえるよう内容とデザイ<mark>ンを</mark>一新し、教員と在学生によるブックガイドとして生まれ変わりました。

新入生の皆さんに向けて、先生方や在校生が「学生時代にぜひ読んでほしい!」と一押しの本を選んでいます。看護に関するものから小説などジャンルも幅広く、みなさんの好奇心を 刺激するよ<mark>うな本</mark>が出揃いました。

掲載している本は図書館に所蔵していますので、実際に手に取ってみることができます。大学での学び始めに、ぜひご覧ください。



[潮谷義子述];一瀬文秀著, 西日本新聞社,2017.

(2F開架 289.1||S)

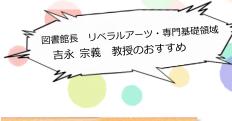


佐賀で生まれ育ち、東京で社会福祉を学び、大分、熊本で福祉に従事し、長崎と東京(母校)で大学の管理運営を担った九州の女性、潮谷義子さん。熊本では日本で2人目の女性知事としても有名ですから、名前を聞いたことがあるでしょう。彼女のドラマチックな半生が、2016年秋から翌年3月まで西日本新聞に連載されました。彼女と知り合って約10年になる私は、その連載に魅了されました。それがこの本の土台です。

高校生・大学生時代、親と暮らせない子どもの施設「慈愛園」の活動、結婚生活などの話も興味深いですが、本の約半分を費やしている県知事時代に直面した川辺川ダム建設、ハンセン病元患者のホテル宿泊拒否事件、水俣病患者の認定等の問題は、彼女の信念でもある"人の命を大事にする、人権と尊厳を守る"という看護とも共有する価値観とぶつかりました。潮谷さんがそれをどのように受け止め対応したか、苦悩と葛藤の日々についてもイメージを膨らませて読んでみてください。







『大人になるための リベラルアーツ

: 思考演習 12 題』

石井洋二郎, 藤垣裕子著,

東京大学出版会, 2016.

(2F開架 116||I)

「大人」とはどのような存在でしょうか?だれでも「大人」になる。それなのに必要なことってあるのでしょうか?そもそも「リベラルアーツ」って何と思っている人もいるでしょう。その定義を説明するのは紙面が限られているので、ここでは簡単に「教養」と言っておきましょう。ただ、「物知り」ということではありません。本書によれば「知識」にも「経験」にも「思考」にも限界があり、それから解放されることが必要であるといっています。そのために本書では、いくつかの問題提起に対する議論を経て自分なりの回答を見出す形式をとっています。今から大学での学問を修めるうえで「考える力」を養ってくれるでしょう。

もう一冊!



『わたしを離さないで』

カズオ・イシグロ著; 土屋政雄訳, 早川書房, 2006. (2 F 開架 933.7 | | I)

昨年ノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの作品です。本学の中村学部長が一昨年の「新入生にすすめる本」にも紹介しています(大学HP図書館より閲覧可能)。臓器移植、クローン人間などの社会的な問題を扱いつつ、死ぬとわかっている人たちの心の奥底に焦点を当てた作品としても一読をすすめます。









看護の基盤領域 宇都宮 真由子 助教のおすすめ

『精神科ナースになったわけ』

水谷緑著, イースト・プレス, 2017. (2 F 開架 N27(IM)

普通の OL だった主人公の女性が自分の心を見つめ直したことをきっかけに、精神科看護師に転職し、精神科病院で奮闘する姿を描いた作品です。1 時間程度で読めるコミックですが、患者の心の痛みをわかろうとする看護師の工夫や、患者の苦悩がリアルに描かれています。私は精神科臨床で働く看護師に勧められて読みました。精神科に興味がなくても、看護の基本となるような「心を癒す」こととは患者にとってどんな関わりなのか考えることのできる一冊ですので、やんわりした作画に癒されながら読んで見てください。



『僕たちは世界を変えることができない。

: But, we wanna build a school in Cambodia

葉田甲太著, 小学館, 2010. (喜多文庫 916||H)



看護師4年目の春、私はこの本を読んで青年海外協力隊の参加を決意 しました。

「大学生がカンボジアに小学校を建てる」という内容ですが、そこに 至るまでの大学生が考えたこと、気持ちの揺れ動き、そして行動があり のままに書かれおり、熱意を感じ、心震え、私のやりたいことを後押し してくれました。きっと同じ立場である学生さんが読んだら、もっともっと化学反応を起こしてくれるに違いありません。筆者は本学の国際シンポジウムにも来学されており、メッセージ・サイン入りの本が図書館 にあります。ぜひ図書館で探して、手に取ってみて下さい。





『獣の奏者』シリーズ

上橋菜穂子著, 講談社, 2006-. (2F 開架 913.6||U||1~4)

この『獣の奏者エリン』は異世界の地を舞台とするファンタジー小説です。2009 年には NHKでアニメとして放映されました。今回は物語の始まりである 1 巻「闘蛇編」を紹介します。

この物語は主人公であるエリンという少女の、過酷な運命にも負けず、懸命に生きていく姿を描いたものです。エリンは物語の中で登場する獣「王獣」と出会い、数々の困難を乗り越え、共に成長していきます。

最大の魅力は、エリンのまっすぐで純粋な心、そして好奇心旺盛で賢く、明るい性格です。エリンの考えることやその信念には、本当に心動かされることが多々あります。また、自然や生き物の尊さ、命とは何か、についてとても考えさせられるものになっています。

一度読み始めると最後まで読みたくなるような本です。皆さんも是非手にとって読んでみてください。



『**心を動かす!「伝える」技術: 五輪招致 7 人のプレゼンターから学ぶ**。
荒井好 著, SB クリエイティブ, 2**01**3. (2 F 開架 809:2||A)

私たちは、2020年の五輪招致が決定した4年前のアノ瞬間を忘れていないのではないでしょうか。その時の「お・も・て・な・し」がブームになりましたね。

そこで、大学生の皆さんにこの本を勧める理由が2つあります。1つ目は、人に伝えることにしっかりと向き合ってほしいということです。授業の中でプレゼンテーションを課すことがあります。その際、課題の内容を淡々と口頭で伝える人もいれば、その課題に関して事前に学生用に資料を用意してプレゼンする人もいました。両者の違いは、このプレゼンにどれだけの準備をして取り組んだのか、という点だと思います。2つ目は、伝えるスキルを身に着けてほしいということです。プレゼンのスキルは、表情、声のトーン、身振り、手ぶりなどです。プレゼンは海台で発表する時だけでなく、普段の生活でもよく行っています。

なぜ、私たちが4年前のあのプレゼンに感動したのか、この本にその分析が細やかに記述されています。 きっと皆さんの表現力のヒントになると思います。

緒方 千秋 さんのおすすめ



私がおすすめする本は、ステファニー・ガーバー著の『カラヴァル 深 紅色の少女』です。主人公スカーレットは、政略結婚をさせられる直前 に「カラヴェル」の招待状を受け取ります。スカーレットは、妹のドナテ ラと一緒に「カラヴェル」へ向かうのですが、妹とはぐれてしまい、妹を 探す冒険を始めます。

真実と嘘、幻想と現実、全てが入り交じった世界に主人公だけでなく、 読者も引き込まれるくらい面白く、頭の中で「カラヴェル」の世界が描け るくらい綺麗な文章になっています。この本は海外文学ですが、文章も 優しく、一気に読み終えてしまうので読書が苦手な方も、是非読んで欲 しい一冊です。

POPER POPER POPER POPER POPER POPER

くれぐれも、はまりすぎないよう、どうぞご注意を。

『カラヴァル : 深紅色の少女』

ステファニー・ガーバー著; 西本かおる訳, キノブックス, 2017. (2F開架 933.7川G)





ヘルスプロモーション・在宅看護領域 金森 弓枝 助教のおすすめ



認知症になった私

佐藤雅彦 伝

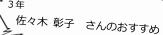
若年性認知症は65歳未満で発症する認知症の総称で、全国における若年性認知 症者数は約4万人と推計されています。女性よりも男性に多く、発症の平均年齢は 51 歳です。この本は、若年性認知症の診断を受けた佐藤氏(当事者)の手記で、認知 症になるとはどういうことかを当事者の「ありのまま」の言葉で表してあり、認知 症になっても色んな能力が残されていることや病気になったからこそ気づくことが たくさんあるなど「当事者の思い」がつづられています。ぜひ、一人でも多くの方 がこの本を手に取り、当事者の思いに共感していただければ幸いです。





















い。あなたにとって忘れられない一冊になるかもしれません。

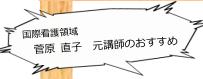
あなたには忘れられない思い出はありますか? 高校の体育祭、 部活動、恋愛、大切な人との別れなど人によって様々ですよね。 私たち人間は幸せな出来事や辛い出来事を脳の大脳皮質で記憶し ています。では、もしあなたが今までの人生を全て覚えていたと したら?4月〇日〇時〇分「本学の入学式で起立する時に椅子の音 を立てないように注意された」(私の記憶の一部です)というよ うに毎日のことを逐一記憶していたら私たちの脳は、心は、どう なるでしょうか?この本は8歳からの全てを覚えている主人公が 記憶に葛藤する物語です。気になった方は手にとってみてくださ



この本は、ほかの多くの本のように学生の皆さんが生まれる前書かれた本です。ちょっと古くとも変わらない人間の大切な部分に問いかけるような本です。

神谷氏はハンセン病の患者さんとのかかわりの中から、「先入観を持たずに患者の心を知ろうとする姿勢」の大切さを教えています。特に医療の現場では医療設備・機械の向上は利点があるが、看護師は「機械の付属品」のようにならずに「医療における人間らしさの最後のとりでである」というメッセージを送っています。

これから看護の世界を目指す皆さんは、患者さんの病気にばかり目が行きがちになってしまいそうな時期があります。そうなったときにぜひ読んでほしい本です。







『神谷美恵子 島の診療記録から』

神谷美恵子著, 平凡社, 2017. (2F開架 914.6||K)







全国大学 ビブリオバトル 2018 ~首都決戦~出場!



『グッド・フライト、グッド・ナイト : パイロットが誘う最高の空旅』

> マーク・ヴァンホーナッカー著 ; 岡本由香子訳, 早川書房, 2016. (2F開架 687.04||V)

この本は実際に国際線パイロットとして働く著者が愛してやまない空や飛行機や飛ぶ ことについてひたすらロマンチックに語る本です。

看護と全く関係ないと思われがちですが、看護を学んでいく皆さんだからこそ読んで欲しい一冊です。私は、看護という職業は最も誰かの人生に関わることのできる職だと思います。この大学に入って、これから沢山の経験をし、沢山の人に出会うと思います。その出会う一人一人に歴史があり、価値観があります。そんな時に新たな視点を与えてくれたり、何かヒントをくれる本だと思います。純粋に空や飛行機の美しさを楽しむことも十分できる本ですが、働くということについても考えさせてくれる本です。これからの学生生活、たくさんの本を読んで色んなことを感じて下さい!

『嫌われる勇気』

岸見一郎, 古賀史健著, ダイヤモンド社, 2013.

■(2F開架 146.1¶K)

突然ですが、看護学生になった皆さんの多くは人を助けたい、人の役に 立ちたいという思いが強い人が多いのではないでしょうか。

あなたには達成したい目標があり、進みたい過程があることでしょう。 この本にはたとえ、あなたがその行為によって誰かに嫌われてしまうと しても、その事実を受け止め一歩を踏み出す力を持っていることを証明し てくれる言葉があります。

自らを受け入れ、他者を許容し、他者に貢献することと自らの為に生きることは同じで、他者もまたそう生きていることを知ってください。

他者の為に生きるのではなく、他者に奉仕することを決めた自分の為に 生きるあなたになれるように、その一助としてこの本をお薦めします。

『語りかける身体: 看護ケアの現象学』

西村ユミ著, ゆみる出版, 2001. (2F開架 N01||N)

皆さんは植物状態と表現される方々の存在を知っているでしょうか。この本は、そのような言葉を発しない、意識がないといわれる方々と、確かに交流している看護師の経験について分析されたものです。看護師がケアを通して何らかのやり取りをしている経験を、語りのままとらえているため迫力があり、看護の魅力を感じます。少し難しい表現はありますが、学年が上がり、経験をした後にもう一度読んでもらうと、また違った感想を持てる本でもあります。人間や看護に興味がある方にお勧めしたい一冊です。







老年・慢性看護領域

西山 陽子 助教のおすすめ







『ウラからのぞけばオモテが見える:

佐藤オオキ nendo・10 の思考法と行動術』

佐藤オオキ, 川上典李子共著 ; 日経デザイン編, 日経 BP 社, 2013. (2F 開架 501.83 ||S)



デザイナーの仕事は「奇抜な形を作る」ことでも、何かを「カッコよく見せる」ことでもありません。デザインとは問題解決のための「新しい道」を見付ける作業です。 (佐藤オオキ) 一見すると、看護とはかけ離れた世界のように感じるデザインの世界ですが、この本の中で佐藤さんが伝えている思考法は、なぜ実践の科学である看護を"学問"として学ぶのか、その本質に迫っているように感じます。

「面」で考えること、一歩「下がる」こと、「均衡」を崩し、「ゆるめ」につくること…

思考が、少し窮屈になっていと感じることが最近あります。しかし、佐藤さんの言葉から自分の思考を変えるヒントをもらい、窮屈さを生む原因が自分の中にあったのではないかと感じるようになりました。これから講義や演習で学ぶ看護だけでなく、いろいろなところに散らばっているヒントを探してみてください。



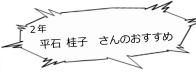
有川浩著,幻冬舎,2012. (2F開架 913.6 ||A)



私がおすすめする本は有川浩著の「空飛ぶ広報室」です。ドラマ にもなっているので知っている人もいると思います。

この本はブルーインパルスのパイロットを目指していた主人公がある日不慮の事故により夢を絶たれ、広報室へと異動になります。そこで様々な人と出会い、新しい人生で仕事の魅力に気づき、奮闘する物語です。また、自衛隊の広報室を舞台としているため自衛隊の存在や報道のあり方について考えさせられる本でもあります。おそらく誰しもが人生の中で挫折や思い通りにいかないときがあるでしょう。そんな時、前に進むために勇気づけてくれる本です。皆さんも是非読んでみてください。

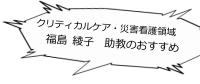




















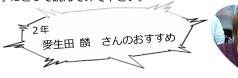
『君の膵臓をたべたい』

住野よる著, 双葉社, 2015. (2F開架 913.6 ||S)

皆さんはもうこの本をご存知の人が多いのではないでしょうか?また この本かよ、と思っている人もいるのではないでしょうか。ですが、そ れだけお勧めできる本です!!本当に泣けます。僕はこの本を7回読みま したが7回泣きました。

この本はまず、題名と本の表紙のギャップが凄いです。僕はそれがす ごく衝撃的で読み始めました。話自体も題名からは想像のできない綺麗 な恋愛の話になっています。綺麗なのですが、すごく考えさせられます。 生きるとは何なのか、僕はすごくそこを考えました。

読んだことがある人も無い人も、映画しか見たことない人も是非一度 手にとって読んでみて下さい。





『ペプロウの生涯

ひとりの女性として、精神科ナースとして

バーバラ J. キャラウェイ著 7 星野敦子訳, 医学書院, 2008. (2F開架 289.3 | C)

看護といえば、ナイチンゲール、ヘンダーソン。看護学生であれば 彼女らの本は読むのは当然。では、ペプロウはどうでしょう。彼女も 偉大な先人です。彼女の著『人間関係の看護論』は、いずれ講義で紹 介されます。本書は、そのペプロウの89年にわたる波乱万丈の生涯 の物語です。看護の専門性、科学性を立証し、因習的な精神科看護に 大きな変革をもたらした彼女の「並外れた勇気と回復力」。シングル マザーでありながら、キャリアを形成し続けた彼女の生き様。是非、 目を凝らして読んでみてください。「自律」という言葉の意味を再確 認することでしょう。







『しきぼん法』

この本は、伊豆見翔人という両親から愛情を受けずに育ち、ある罪を犯 してしまった青年のお話です。逃亡を繰り返し、ある村へと辿り着きます。 そこで出会うスマというお婆さんや村の人々との生活を通して、翔人は少 しずつ成長し、自分が犯した罪と向き合っていきます。お婆さんや村の 人々の愛情や温かみに触れて、人生における幸せを知り、徐々に変わって いく姿は読者の感情を揺さぶります。

また、この話は面積の96%が山林に囲まれている宮崎県の椎葉という小 さな村が舞台となっています。宗像よりも、もっともっと自然で溢れた情 景を想像しながら読んでみて下さい。



図書館司書 のおすすめ



幕末廻天の鬼才・佐野常民 高橋克彦著, PHP 研究所, 1992 (2F開架 913.6IIT)

泣く、ということはひとつの才能である。(中略) その 見事な泣きぶりによって人の心を揺さぶり、歴史に足跡を 残した男がいた。(本文より)

見事な泣きぶり?と冒頭の一文から気になるこの小説 の主人公は、佐野栄寿、後の日本赤十字社の創始者「佐野 常民」です。

激動の幕末期、常民は日本の将来のためにとの強い信念 を持ち、身の危険を顧みず、さまざまな行動を起こします。 常民のその行動力に感銘を受けるとともに、慎重さと、周 囲をあっと驚かせる大胆さとを合わせ持ち、時に涙で人の 心を動かす、そのつかみどころのないキャラクターにも惹 かれます。

赤十字を学ぶみなさん、若き日の常民の「泣きぶり」に 注目しながら、この作品をぜひ読んでください!



The state of the s

みなさんは「**ビブリオバトル**」という言葉を聞いたことありますか? 今回本を紹介してくれた先輩方は、昨年度の学内ビブリオバトルの発表者です。

ビブリオバトルは、本の紹介コミュニケーションゲームです。

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに、知らない本や人に出会い、世界が広がる新たな知的ゲームとして、大学や図書館だけでなく、小・中学校から地域のコミュニティまで幅広く行われています。

やり方はとてもシンプルで、発表者による本の紹介を聞き、参加者全員で、その中で一番読みたくなった本を選びます。 一番多く票を集めた本がチャンプ本です。

毎年、高校生・大学生を対象にした全国大会も開かれており、本学では予選会を兼ねて年 2 回程度開催しています。 昨年度は、本学の庄司さんが、予選、地区決戦を勝ち上がり、全国大会に出場しました。

「発表はちょっと・・・」というそこのアナタ。まずはどんなものか聞いてみるだけでも構いません。 ぜひ参加してみませんか? もっと話が聞きたい方は、気軽に図書館までお尋ねください♪

他大学の友達が できた

人前で話すことで 発表の練習になった 大好きな本を 紹介できて 楽しかった

緊張したけど いい経験になった





